千葉県障害者就業･生活支援センター連絡協議会だより

広報紙　第14号
平成29年6月30日発行
≪発行元≫
千葉県障害者就業・生活支援センター
連絡協議会 会長　藤尾　健二

会長挨拶

早いもので平成29年度も3ヶ月を経過しようとしています。平成30年度には多くの制度が新設・変更されます。国においては、平成30年度より第4次障害者基本計画がスタートします。これに伴い我々障害者就業・生活支援センター(以下、中ポツセンター)の運営に大きく関わる新たな障害福祉サービスとして「就労定着支援事業（仮）」がスタートします。また、平成27年度から運用されている現行の福祉サービスの報酬についても見直しが入ります。さらに千葉県では第6次障害者計画の策定に向けて協議を重ねています。

障害者雇用においては平成30年度より法定雇用率が改定され、精神障害者の雇用義務化に伴い、法定雇用率が民間企業において現行の2.0%から2.2%に変更されます。さらに3年後までに2.3%に変更するとされています。

このように、平成30年度は障害者の雇用・就労をとりまく環境が大きく変動する一年となり、平成29年度はその準備の最終段階と言えるでしょう。当連絡協議会としても平成30年度、更にはその後の障害者雇用・就労を見据えて活動してまいります。

今後増加が見込まれる精神・発達障害者の雇用・就労に対応すべく、千葉県より受託している「障害者就労促進チャレンジ事業」や「精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務」を活用し、企業への啓発や就労を希望する障害者のチャレンジの場を拡げていきます。

福祉サービスの変更等様々な環境の変化に対して、年2回開催する「連絡調整会議」や、各圏域において実施する「ネットワーク会議（地域意見交換会）」を通じて、地域資源との更なるネットワーク強化に取り組みます。また制度施策部会のアンケート調査により、現状の把握および今後の向かうべき方向性について協議します。当連絡協議会として取りまとめた意見は「千葉県障害者総合支援協議会」において伝えることにより、雇用就労分野における計画策定に対してしっかりと発信し関与していきます。広報部会では、ホームページの充実、広報紙の発刊を通じて中ポツセンター及び当連絡協議会の更なる周知・理解に取り組みます。研修部会では、福祉サービスにおいて共通の課題である人材育成に対応すべく、より充実したスタッフ研修を実施します。

平成29年6月9日（金）、10日（土）の2日間、大阪において全国就業支援ネットワークの定例研究・研修会が開催されました。全国から中ポツセンターが集い「当事者から学ぶ」「今後の在り方」について学び、意見交換を行いました。全国的にも千葉県のように組織された協議会はまだ限られており、我々の役割は大きいと再認識する機会となりました。今後も当連絡協議会の活動を広く伝え、全国にも同じような仕組みが構築されるよう努めていきたいと考えます。

このように、障害者の就労・雇用を取りまく制度や状況が急激に変化するなか、当連絡協議会としての役割をしっかりと検証し、千葉県内の障害者就労支援ならびに雇用支援に寄与するよう努めてまいりますので、今後とも皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

会長　千葉障害者キャリアセンター　藤尾健二

障害者雇用促進を目指して（平成29年度受託事業）

今年度も2つの事業を千葉県商工労働部産業人材課から受託しました。

千葉県障害者就労促進チャレンジ事業

以下の3つを柱とした事業となっており、各種見学会・相談会の開催時期等については千葉県や当連絡協議会のホームページから情報を取得することも出来ます。

①企業等の促進理解の為、障害者法定雇用率未達成の企業に、自社で雇用した場合のイメージを持っていただく為の企業見学会や相談会に参加していただく。

②障害のある人等の意識改革の為、就労を希望する障害当事者に一般企業にはどんな職種、どんな業務があるのかを実際に見ていただく為の見学会の実施。

③障害当事者が、障害者雇用を希望する企業で実際の仕事を体験できる短期職場実習を実施。

精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務

就労を希望される精神障害者等が、一般企業内で1～3ヶ月間の訓練を行えるよう、企業開拓及び両者間のコーディネートをすることとなっており、窓口である千葉県立障害者高等技術専門校と連携して支援していきます。

上記の事業を通じて障害者就労及び障害者雇用企業が増え、長く職場定着出来ることを応援していきたいと思います。

事務局　　ふる里学舎　本郷宏治

連絡協議会主催フォーラム実施準備へ!!　～総会報告～

平成29年5月19日（金）、きぼーるにて『千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会総会』が開催されました。

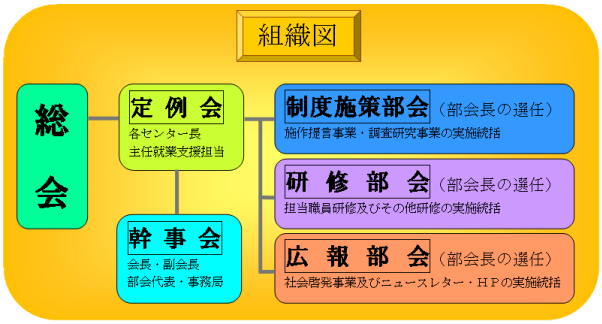
平成28年度の事業報告及び決算報告では「精神障害者等向け実践能力習得訓練コース委託先機関開拓事業」において、訓練実施目標数には届かなかったものの、訓練を実施した方の半数以上が就労に繋がったことが報告されました。

また昨年度2回行われた、関係機関との連携強化を目的とした連絡調整会議では「就労支援事業所との連携」や「中ポツセンターが行う生活支援」についての議論は有意義であったとの意見が多かったと報告されました。

さらに新たな試みとし、平成30年度の精神障害者雇用義務化に伴い雇用率の引き上げが実施される為、障害者雇用に携わる関係者を集めたフォーラムを当連絡協議会主催で実施する為の準備チームが結成されることとなり、併せて準備費が計上されることとなりました。今後内容が固まり次第、関係者の皆様にはご案内をさせていただくことになると思いますので、その際にはよろしくお願いします。

今回の総会も滞りなく終えることが出来、そのあとは各センターから31名が集まり、お店を貸し切っての『夜の』情報交換会が行われ、長い一日が終わりました。

山武ブリオ　松本順一



ぶらい中ポツの旅　～あかね園　コースタル インダストリアル ゾーンをゆく～

あかね園は、平成14年の中ポツセンター事業開始初年度に、千葉県で最初にスタートしたセンターです。習志野圏域（習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市）に在住の方々を対象として活動しており、千葉県の京葉工業地帯の臨海部に位置し、工場や物流センター、商業施設等も多く障害者求人も大変多い地域でもあります。

新年度に入って約3ヵ月、相談件数が増えており、特に精神障害の方からの相談は多い傾向にあります。あかね園では、支援センターの事務所での相談も随時行なっていますが、習志野市の協力も得て、行政機関の出張所等を内包する京成津田沼駅前ビルの“サンロード”にも月2回相談窓口を設けています。様々な相談に対応する為、相談者が足を運びやすい利便性が良い場所を確保するねらいもありますが、行政との連携も大切だと考え、外部での相談も実施しています。

相談内容は様々ですが、近年は定着支援や求職における支援以前に、生活面での支援体制を整備すべきケースも多く、より一層の行政や他の支援機関との連携が求められています。

（左）新習志野駅から徒歩15分。青い看板が目印のあかね園は周囲に馴染むインダストリアルなデザインの建物。

（右）京成津田沼駅直結のビル「サンロード津田沼」はドラックストアから中華料理、老舗パン屋、市民協働インフォメーションルームまであるビル。

障害者就業・生活支援センター中里発信！「地元の企業　紹介するっぺ!」
～『花しぶきリゾート』編～

　南房総館山、チーバ君のつま先辺りにあるのが私たち障害者就業・生活支援センター中里です。
　館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町の安房圏域で花と海と美味しい食べ物を横目に日々走り回っています。
　今回は地元で障害者雇用を率先して行っている企業、「花しぶきリゾート」専務取締役　小金護氏にお話しを伺ってきました。

〇花しぶきリゾート…館山市にある温泉旅館やホテル、飲食店など、地元館山の活性化に取り組んでいる企業です。

Q, 障害者雇用の現状を教えてください
A, 現在は千里の風で2名、花しぶきで2名、森羅（しんら）で1名、計5名の方が1名も辞めることなく働いてくれています。皆さん一心不乱に仕事をしてくれて、和気あいあいと仕事の隔たりなく行ってくれて現場も非常に助かっています。
※千里の風・森羅はホテル、花しぶきは旅館

Q, 障害者雇用を行い何か気付いたことはありますか
A, 職場での飲み会や慰労会なども進んで参加をしてくれています。プライベートの話しも色々してくれ、とても良い雰囲気です。そう考えると職場の環境は非常に大事だと思います。障害者の方を支えるスタッフは一緒になって色々考えてくれますし、周囲のスタッフと障害者の方自身が『1人の従業員』だという思いを持ってくれていることが重要だと思います。

Q, 障害者雇用に関して注意した点、配慮した点はありますか
A, 現在調理やレストランサービス、洗い場、フロント等7つのセクションからなっており、適材適所で勤務してもらっています。今いる方たちは複雑な内容より単純明快な仕事に非常に能力を発揮してくれています。また一人でも欠けたら困るという気持ちを持って、他のスタッフに対しても説明を行い、各セクションリーダーには障害の有無など関係なく「人としての行動」を大切にしてもらい、間違っていれば注意し正しいことであれば必ず評価をする等、スタッフを分け隔てなく全て平等に見ることを意識しました。

Q, 現在の障害者雇用施策などに意見や要望はありますか
A, 私たちは「障害者」を雇用しているとは思っていないため、特に考えたことはありませんが、私たちの業界は多くの障害者の方が働くことが出来る『場所』だと思っています。むしろ色々な商業組合等にもっとアピールや説明をしてもらえればこの業界で働くことが出来る人は増えると思います。

Q, 最後にこれから障害者雇用を考えている、悩んでいる企業にアドバイスはありますか
A, 一人の「人の力」として考えているだけですから、アドバイスなんて言えないです。（笑）

　平成26年に「千里の風で働きたい」という登録者の一言で、花しぶきグループと私たちとの関わりがスタートしました。正式な障害者雇用としては初めてであったことから、色々とアドバスをさせていただきました。また雇用に関する課題や意見などを共有しながら支援をさせていただき、現在では花しぶきグループ３社での雇用をお願いするに至りました。
　花しぶきリゾートは地元の農家さんや漁師さんとも連携し、「チームたてやま」として地元の発展に尽力いただいている企業でもあります。私たちセンターも「チームたてやま」の一員として地元の発展と雇用の創出に協力出来ればと思います。ありがとうございました。

企業支援員　佐藤文人

担当圏域	名　称	電話番号
千葉市	千葉障害者キャリアセンター	043-204-2385
船橋市	大久保学園	047-457-7380
市川市・浦安市	いちされん	047-300-8630
習志野市・八千代市・鎌ケ谷市	あかね園	047-452-2718
松戸市・流山市・我孫子市	ビック・ハート松戸	047-343-8855
柏市	ビック・ハート柏	04-7168-3003
野田市	はーとふる	04-7124-0124
成田市・佐倉市・四街道市・八街市 富里市・印西市・白井市・印旛郡	就職するなら明朗塾	043-235-7350
香取市・香取郡	香取就業センター	0478-79-6923
銚子市・旭市・匝瑳市	東総就業センター	0479-60-0211
東金市・山武市・大網白里市・山武郡	山武ブリオ	0475-77-6511
茂原市・長生郡	長生ブリオ	0475-44-4646
勝浦市・いすみ市・夷隅郡	ピア宮敷	0470-87-5201
館山市・鴨川市・南房総市・安房郡	中里	0470-20-7188
木更津市・君津市・富津市・袖ケ浦市	エール	0438-42-1201
市原市	ふる里学舎地域生活支援センター	0436-36-7762

【コラム】数字で見る中ポツセンター事業

下表は千葉県内16センターの平成27年度と平成28年度支援実績の1センター当たりの平均値です。

これらの数字のみでは実際に行っている日々の支援量等は推し量れませんが、一方で増え続ける登録・相談件数から中ポツのあり方、支援のあり方について再考する機会になっています。

支援種別	27年度平均	28年度平均
登録者(支援対象者)数	503人	547人
支援対象者の就職件数	49件	43件
支援対象者の職場実習等のあっせん件数	35件	35件
支援対象者の相談・支援件数	5,055件	5,608件
相談・支援を行った企業数	186件	209件
企業に対する相談・支援件数	1,502件	1,894件
職場訪問による職場定着支援の実施件数	564件	581件

平成29年度中ポツ連絡協議会年間予定

- スタッフ研修（7月21日・2月9日）
- 連絡調整会議（8月25日・2月23日）
- 南関東ブロック経験交流会議（11月17日）
- 全国フォーラム（2月17日）
- 協議会定例会(奇数月第三火曜日)

※当連絡協議会内で周知しておきたいこと等ありましたらぜひ定例会をご利用ください。
詳しくは事務局までお問い合わせください。

シリーズ　とある古川さんの…つぶやき

「とりあえず生ビール！！」なんて、より一層おいしく感じられる季節の到来ですね。

美味しいお酒を交わしながら、色々と会話していると「**はっ**」と気付かされ、仕事へのヒントやモチベーションが上がる事ってたくさんありますよね。

私の場合、終電で熟睡して「**はっ！**」。目覚めたら仲良くしていただいている県外の支援者のホテルの一室で「**はっ！！**」と。違う意味合いでの気付きも多いけど…。

ここ数年、支援者の離職という残念に思う事が毎年必ずあり、またよく耳にします。

「あんなに連携が取れていたのに」「連携が始まったばかりなのに」「元気よく働いていたのに」等、離職の原因は分かりませんが、多くの方々は長く頑張っていこうと、良き支援者になろうと研修やＯＪＴ等で日々頑張っていたはずなのに。

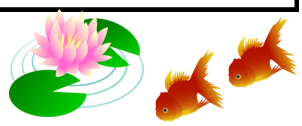
やはり、就労支援の現場って厳しいのかな…。求められるスキルが多くあり過ぎるのかな…。相談しづらく、海より深く沈んでしまうのかな…。

理由は様々ありそうですが、一生懸命に頑張っている支援者ほど、壁にぶつかった時に無力感から病んでしまい離職となる方が多いような…。

悩む前に
「参加出来そうな会を探して、お酒は飲めなくてもいいんじゃない、誰かと会話しよう」
管理者は
「自分ばかりでなく、職員の懇親会等への参加を費用も含めて後押ししよう」
私自身も色々出掛けて仲間を作り「**はっ！**」と感じられる瞬間を増やすぞ。

編集後記・広報部会より

広報紙第１４号はいかがでしたでしょうか。今回は障害者雇用を行っている企業に協力をいただき、色々とお話しを伺ってみました。企業の考えや方針など様々だと思いますが、「個の力」を大切にすることで自ずと選択肢は広がってくるのだと感じました。また我々連絡協議会も「チームなかぽつ」として皆さんと協力していければと思います。

広報部会長　近藤大介

事務局
千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会
障害者就業・生活支援センター
ふる里学舎地域生活支援センター
千葉県市原市今富1110-1
電　話：0436-36-7762
ＦＡＸ：0436-36-7612
E-mail：fg.shien@yukeikai.jp
ホームページ：
http://www.chiba-centernw.com/